

# ビジネスチャンス

2  
2017

次なる成長を狙うすべての起業家・ビジネスパーソンを応援する 起業&新規事業の専門情報誌

「鳥」で成功した起業家たち

# 焼鳥・唐揚げフランチाइズの 魅力を大解剖



特集

## インターネットで資金調達 購入型クラウドファンディング研究

サイバーエージェント・クラウドファンディング 中山亮太郎社長

READYFOR 米良はるか社長

ワンモア 沼田健彦社長

ReLic 北嶋貴朗社長

対談 侃々諤々 成功のビジネスモデル Vol.7

二つの特化型サービスを生み出した経営者  
異なる業界経験から感じたEOの刺激

リンクバル 吉弘和正社長

× ファイブニース 岡崎雅弘社長

対談

## ネクシーズ近藤太香巳 × 次世代起業家 パッショントークセッション

vol.22 ファイン・ラボ 林芳樹社長



# パッション トーク セッション

VOL.22

ネクシィーズグループ 近藤太香巳社長 × ファイン・ラボ 林 芳樹社長

## 人体に無害のウィルス除去剤を開発 飲食店や高齢者施設への普及をスタート

19歳で起業。2004年、自らの直感と情熱を武器に当時最年少となる37歳で東証一部上場を果たしたネクシィーズグループの近藤太香巳社長。一介の若者から成功者へと駆け上がったその起業人生には、数えきれない成功・失敗・挫折が含まれている。そんな近藤社長が、次世代を担う経営者を招いて経営について語るのが同連載だ。22回目となる今回は、画期的な除菌剤を開発し、ネクシィーズグループと業務提携したファイン・ラボの林芳樹社長だ。

近藤 実はファイン・ラボは当社が出資している企業の1つで、今回の対談もすごく楽しみにしていました。林 ネクシィーズグループからのご出資ならびに、業務提携をして頂き、非常に光栄であります。おかげさまで当社の製品である「アクアウィッシュ」も新しいステータスに入れようです。

近藤 「アクアウィッシュ」ですが、既存の除菌剤と比べて明らかに革新的なものです。今までの除菌剤は、除菌・消毒作用があると言いつつ、体に良くない物質が含まれているものがほとんどでした。一方でアクアウィッシュは人間の口の中に入っても害がない上に、とっても強力な除菌作用がありますので、食中毒や感染症の予防につながります。

林 実は最近、製品のエビデンスとして、ノロウィルスの実験データを取ることができたのです。アクアウィッシュ1mlを検体として、そこにノロウィルスの代替ウィルスとして広く使用されている「ネコカリシウイルス」を0.1ml添加して実験しました。その結果、ネコカリシウイルスは、わずか15秒で不活化したのです。

その他、大腸菌やサルモネラ菌、黄色ブドウ球菌で実験したところ、15秒で不活化したというデータが取れました。ロシリーズ」の中に、アクアウィッシュをラインナップすることにしました。

林 発売してからすぐ売れたので、大変驚いています。さすがネクシィーズグループだなどと改めて感じました。

近藤 実際、林社長は、どの業界にこの商品の導入を狙っていますか。

林 先ほどの話に挙げたように、飲食店は導入しやすいと思いますが、個人的には特別養護老人ホームといった高齢者向けの施設に普及していきたいと思っています。今の時期、子どもや高齢者のような免疫が弱い人はインフルエンザに感染しやすいですから、予防には効果的だからです。

噴霧器を飲食店の厨房や施設のエントランスなどに設置していただければ、細菌やノロウィルスの除菌になります。特に喫煙所やトイレ、ごみ置き場なんかにも置いてもらえるとすごい消臭効果があります。

今回の業務提携で、超音波噴霧器とアクアウィッシュの原液が特別パッケージで月額レンタルされます。これは空間除菌の効果をさらに広めることにつながると思っています。

近藤 代表はどのようにお考えですか。近藤 老人ホームは良いと思います。当社はレストランや旅館に特化していきたいですね。料理人が消毒した

れました。

アクアウィッシュは食塩水を電気分解することによって生成される「電解次亜水（でんかいじあすい）」という水です。これは厚生労働省が食品添加物の一つとして認定しているもので、原材料は「水」と「塩」のみですから、万が一口に含んでも問題ありません。

近藤 15秒とすごい除菌力ですね。飲食店に置いてもらえれば、食中毒の予防が期待できそうですね。

林 先日、当社が行った調査によれば、飲食店の7割がアルコール系の除菌剤を導入していることが分かりました。ただ手が濡れた状態でアルコールを付けると、除菌効果はほぼなくなりませんから、食中毒の感染が起こってしまう可能性もあるのです。一方で、アクアウィッシュは濡れている場所でも変わらない除菌効果を発揮します。

実際に飲食店でアクアウィッシュを使用していただいた実験データがあります。食中毒というノロウィルスという印象を抱く人は多いのですが、今年は、鶏とその卵の殻に付着している「カンピロバクター」という細菌が流行しています。アクアウィッシュは、このカンピロバクターに関する除菌作用があることが証明されました。

つい先日も、チキン料理のレストランを複数店舗で展開する某上場企業が

行った独自調査によると、厨房内の鶏肉から検出されていた100グラムのカンピロバクターと黄色ブドウ球菌、陽性だった大腸菌が、全て陰性になったのです。企業の統括係の方は、「今まで使ったものの中で一番いい」と言ってくれていました。

近藤 それだけアクアウィッシュは群を抜いているということですね。そういえば、毎年日本で流行するインフルエンザにも応用できるんじゃないですか。

林 インフルエンザについてもエビデンスがあります。アクアウィッシュにインフルエンザウィルスのウィルスを混合した結果、ウィルスは1分で不活化することがわかりました。

実はインフルエンザのエビデンスを出すためには、大規模なシエラータを使つて実験するために多額の資金も必要です。難しく、これを公表できている次亜塩素酸水は、現時点でアクアウィッシュただ一つなの

です。近藤 除菌が必要などところには全て使えますね。私としては世の中の除菌・消臭剤や消毒と言つと、「頭が痛い」、「めまいがした」など、何かを殺すために何か有害なものを

入れるというイメージが強かったんですよ。ところがアクアウィッシュは、良いものをつかって悪いものを倒すことに熱中したということですね。完成したのはいつ頃なのですか。林 実は8年前に完成したのですが、市場に流通しなかったのです。理由は、流通しなかつたのです。理由がないので、製品としての耐久性を欠いていたからです。これを耐久性の高めたものに作り替えたのが6年前ですね。ノロウィルスやカンピロバクター、インフルエンザを不活化させることがデータとして取れましたので、ここからはアクアウィッシュを全国に広めるしかないと思つています。飲食店やトイレで、除菌剤・消臭剤を使用することに對するリスクがなくなるように、害のないものを世の中に広めたい。何とか力を貸してくれないか、とパッションリーダーズ代表理事の近藤代表にお願いしたところ、お力添えをいただいたことで、今回のご出資と業務提携に至りました。非常に嬉しい限りです。

近藤 すでに出資はしていたのですが、当社グループがそれを扱うということは考えていませんでした。今回、弊社の環境エネルギー事業で提供している初期投資オールゼロのレンタルサービス「ネクシィーズ・ゼ

(次頁に続く)

